

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 玉田 野田

2. 山城/ルート 南アルプス、荒川三山～赤石岳～聖岳

3. 交通手段 車

4. 行動記録

<入山日 2015年 8月 3日。 下山日 2015年 8月 6日>

第1日 神戸 6:00—畑薙第一ダム臨時P—送迎バス—樫島ロッジ (泊)

第2日 樫島 5:30→清水平→見晴台 11:00→千枚小屋 13:20 (泊)

第3日 千枚小屋 4:00→千枚岳 4:40/4:55→悪沢岳 6:30→中岳 8:00→
→荒川小屋 9:30→赤石岳 12:30/12:50→百間洞山の家 15:10 (泊)

第4日 百間洞山の家 5:00→中盛丸山 6:30→小兎岳 7:35→兎岳 8:40→
→聖岳 11:45/12:00→小聖岳→聖平小屋 14:00 (泊)

第5日 聖平小屋 4:00→滝見台 5:30→聖沢吊り橋 7:30→聖沢登山口 9:20
---送迎バス 10:00---畑薙第一ダム P11:00 (赤石温泉白樺荘入浴)

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか?

発生した場合、具体的に記す

Tが聖岳の登りで路肩を踏んで、足元が崩れて1mほど滑り落ちた。

幸い斜面も緩やかで、それ以上落ちることなく、自力で這い上がった。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

道はよかったが、よく見ると路肩が緩んで滑った跡があちこちあった。常に山側近くを歩くように気をつける。疲れの出る時間帯であったが、緊張感を持って歩くように注意する。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

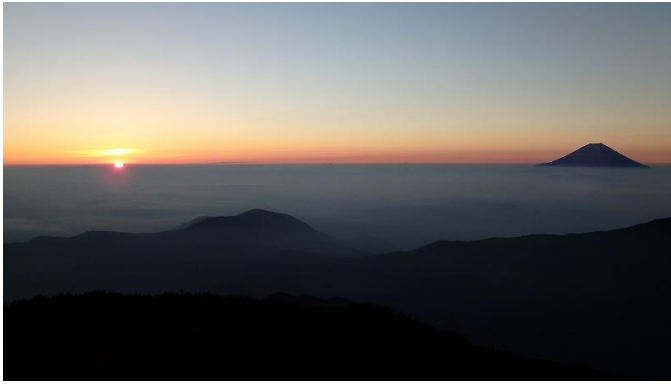
① 悪沢岳 3141m、赤石岳 3120.5m 聖岳 3013mと南アルプスの3000mの山を越える縦走路はアップダウンが激しく、行動時間が長く非常に厳しかった。しかし、富士山を横に見ながらの縦走は南アルプスならではの山深さと静けさを満喫でき、充実した山行ができた。

② 赤石岳、聖岳の長い登りが、日中の一番暑い時間帯となり、日差しが強く、2人とも熱中症のような症状がでてフラフラになった。幸いガスがでてきて、日差しが無くなり生き返った。

③ 4日間夏山らしいお天気が続いたが、毎日夕立があった。赤石岳からの下り午後1時半ごろ雨が降り出し、遠くに雷音も聞こえてきた。稜線で隠れるところもなく、ひたすら下ったが、非常に怖かった。今年は天気が不安定で毎日夕立や雷があるそうだ。

④ 小屋はこじんまりとしていたが、どこも清潔で料理が大変美味しく快適であった。

報告者氏名 玉田優子 2015年8月11日



千枚岳山頂からのご来光と



タカネマツムシソウと赤石岳



悪沢岳（東岳）山頂



荒川中岳と東岳



赤石岳と小さく
見える荒川小屋
まだまだ先は長



縦走路から見える富士山



聖岳山頂・後ろは赤石岳